

組織の概要 (企業用)

会社名 株式会社グレイス

所在地	〒102 - 0083 東京都千代田区麹町 5 丁目 3 番 第 7 秋山ビル TEL:03-3263-0871 FAX:03-3263-0872 E-mail: ogawa@grace-e.co.jp		
ホームページ	http://www@grace-e.co.jp		
設立年月	1995 年 12 月		
代表者	安井 悦子	担当者	小川 二美代
資本金	20,000,000円	従業員数	15名
沿革	1995 年 12 月 設立。(資本金 1,000 万円) 1996 年 04 月 労働者派遣事業許認可取得。人材派遣事業開始。 1997 年 09 月 関西支社開設。 1999 年 01 月 資本金を 2,000 万円に増資。 1999 年 06 月 ISO14001 認証取得。 2001 年 03 月 有料職業紹介事業許認可取得。人材紹介事業開始。		
事業概要	環境分析(大気、水質、土壌の分析)技術者の派遣を取り扱ううち、環境 ISO の情報を早くから得て、人材派遣業としては初の取得をした。その後、環境分析に限らず化学系技術者(医薬、食品、化粧品その他素材メーカーなどの研究開発)、環境マネジメント分野の専門家などの受注をするようになり、それぞれの分野で登録者数も着実に増大している。2001 年暮れからは、グリーン雇用を提唱し、環境マインドは上記のような専門分野の人だけの問題ではなく、全ての職種に環境意識をもって仕事をする必要性を訴え、セミナーの開催などを通して、その普及に努める。		
環境に関する活動実績	■社員および登録スタッフへの環境教育。 ■千葉大学医学部とのコラボレーションにより、環境問題をテーマ別に掘り下げるグレイスエコナレッジセミナー「環境と医学・健康の講座」を開講。(2003 年 3 月～) ■グリーン雇用の普及のため、ハンドブック 15,000 冊制作・配布。 ■「技(スキル)と心(ハート)によるブランド価値創造」と題し、第 1 回グリーン雇用セミナーを丸ビルにて開催(2003 年 9 月) ■国際連合大学「ゼロエミッションシンポジウム 2003-ゼロエミッション社会を目指した新しい行動モデル-」で「環境センスの共有とグリーン雇用の促進」を講演(2003 年 9 月) ■「持続可能な社会を作るための 21 世紀の働き方」をテーマに、第 2 回グリーン雇用セミナーを大阪で開催(2004 年 9 月) ■CSR の本質と新しい働き方を提唱するグリーン雇用セミナー「21 世紀の働き方教室」を開講(全 16 講義 2004 年 10 月～2005 年 2 月)		

売上高(15 年度) 1,007,012,689 円

政策のテーマ

持続可能社会の働き方

- 政策の分野
 - ・ 環境教育、CSR教育
 - ・ 環境起業支援
- 政策の手段

団体名：株式会社グレイス

担当者名：小川 二美代

政策の目的

1. 環境とCSRに関する深い知識を、企業経営者と個々の働く人たちに周知させることにより環境施策の効率化、CSR経営への円滑な移行を補助する。
2. 環境をテーマにした起業を補助し、新たな雇用をうながす。

背景および現状の問題点

1. 環境経営、CSR経営を標榜する企業は少なくないが、SRI対策、対欧米対策など消極的な取り組みが目立ち、実効的な環境経営、CSR経営が行われていると言い難い。
2. 環境経営に積極的と考えられている企業においてさえ、CO2排出量削減に関しては効果は上がっておらず、かえって増加している企業が目立っている。
3. 環境ソリューション事業、環境関連事業の可能性と意欲は数多くあるにもかかわらず、人とノウハウが集約していないために、効果的な起業の芽が育つ環境にない。
4. 以上のことから、環境経営、CSR経営の本質的理解の促進が急務であると考えられる。

政策の概要

1. 「21世紀の働き方教室」の全国的展開

現在、グレイスが行っているグリーン雇用セミナー「21世紀の働き方教室」では、環境経営、CSR経営の本質的な知識の伝授を目的とし、CSR総論、豊かな国を目指す環境経営論、CSRコミュニケーション、社会的起業とは何か、企業の情報受信力・発信力～相互交流、顧客満足度、企業文化に適した社会貢献とは何か、といったテーマを掲げ、松下電器産業、日本IBM、カタログハウスといったCSR経営の実践企業から講師を招聘、実践的かつ本質的な講義を展開しています。さらに、こうして得られた知見をもとに、企業体質の改良、CSR経営の強化、環境起業の促進を図るためのワーキングスキルの伝授も同時に行っています。セルフプロデュース、コミュニケーションは聞く力、コミュニケーションのフロンティア、企画力＝思いを形にする力、ファシリテーションといった講座では、NPO、NGO、各企業で活躍されている実践者を招聘、直に触れなくては得られないノウハウや、そのノウハウの背後にある哲学を伝授しています。受講者は、CSRの本質と、企業のあるべき姿を学ぶと同時に、その実践方法を同時に学ぶことができます。こうした講義を、東京、大阪、福岡、札幌などの日本の大都市で開催することにより、全国で実効性のある環境経営、CSR経営の「うねり」を起こしていきます。

2. 「21世紀の働き方研究所」(仮)の設立

環境経営、CSR経営、新たなワーキングスタイルの研究、隠れた人材の発掘、NEET対策などを研究、社会に発信していく研究所を設立します。上記、グリーン雇用セミナー「21世紀の働き方教室」の書籍化、ビデオ化なども、この研究所を通して行います。これまで、事業や経営はさまざま研究機関があり、研究や情報発信も行われてきましたが、そのベースにある「働き方」は、十分に研究、情報発信が行われているとはいえません。「働き方が変われば、社会が変わる」をキーワードに、新しい働き方を追求していきます。

政策の実施方法と全体の仕組み（必要に応じてフローチャートを用いてください）
株式会社グレイスと、当面はグレイス内に併設される「21世紀の働き方研究所」（仮）が事業主体となり、各企業、大学、各種研究機関、地方自治体、NPO、NGOとコラボレートしながら、展開していきます。

政策の実施主体（提携・協力主体があればお書きください）
株式会社グレイス

政策の実施により期待される効果

1. 企業経営者をはじめとして、これから起業を目論む意欲的な人々に、環境経営、CSR経営のエッセンスを伝授することで、環境に負荷をかけず、市民や消費者に信頼される経営を推し進める企業を増やしていきます。
2. 環境起業のための人材の融合や、ノウハウの提供を行うことで、環境起業を促進し、新たな雇用を増加させ、人材の流動化を促進します。
3. 新しいワーキングスタイルを提案することで、シルバー層や、一度仕事から引退した女性などをはじめとした「隠れた」労働力を発掘していきます。
4. 現在深刻な問題となっているNEET層に、仕事のおもしろさ、社会に関わって生きることの喜びを伝えることにより、社会参加を促します。
5. すべての働く人々に自然資源のかけがえのなさ、それを守る方法を伝えることにより、持続可能社会を実現していきます。

その他・特記事項

人々が生き活きと働く社会を作る、それが持続可能な社会を作ります

大量生産、大量消費、大量廃棄の時代から、循環型社会の形成へ向け、オンデマンド生産、ゼロエミッションの時代に移りつつある現在、社会から期待される企業の役割は大きく変わってきています。かつて、利益だけ追求していればよかった企業が、これからは消費者や従業員といったすべてのステークホルダーへの対応に力をいれなくてはならなくなっています。つまり、CSR＝企業の社会的責任を果たしていく必要が出てきました。

企業の変化と時を同じくして、人材評価の基準や、働く人々の意識にも大きな変化が生まれています。ポストや昇級といった経済的な側面よりも、働きがい、生きがい、社会への貢献、持続可能社会への参加といった側面が強調されつつあります。また、働き方のスタイルも、セッション式、ワーカーズコレクティブなど新しいスタイルが登場しつつあります。NPOやNGOと企業の間にある垣根が低くなってきている現在、「新しい働き方」に関する議論は、いやが上にも高まっていくと考えられます。グレイスは、新旧の働き方の相克から来る社会的なひずみを最小限に留め、「働き方」の追求を通して持続可能社会への移行をサポートしていきたいと考えています。